



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第51号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年3月15日(月)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成

【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校

【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



中



先生方からの熱いメッセージ！

明日、本校から巣立っていく49名の卒業生に、教職員・学校関係者からの熱いメッセージを贈らせていただきます！心のこもったメッセージですので、どうぞお読みください！なお、敬称略にて紹介させていただきます。 ※名前【漢字1字】熱いメッセージ

○山口 勉【始】義務教育を卒業して、自分が選んだ道の始まり。支えてくれる人に感謝しつつ、自分の足でしっかり歩んでください。あなたの人生を変えるかもしれない人とのいい出逢いを。

○久保花実【始】卒業は、次なるステージへの始まりでもあります。これからの活躍を期待しています。

○石橋 薫【信】自分の可能性を信じてくじけず頑張ってください！

○川崎知代子【新】環境が変わるたびに新しい自分を見つけてください。

○山下喜代美【健】中学校で学んだことを思い出して、心と体を健やかに保ち、日々の生活を充実させて下さいね。

○月岡美奈【恕】卒業おめでとうございます。周りの人にも自分にも思いやりをもって素敵な人生を歩んでください。応援しています。

○前川忠浩【導】吉井中学校を良い方向へ導いてくれたと思います。

○山本範子【耕】岩の上に建てた家と砂の上に建てた家(新約聖書マタイ：24、25)どんな立派な家も土台がしっかりしていなければ住むことはできない。

○石田浩一【大】1年生として入学してきた時の姿を思い出すと本当に大きくなったなと思います。これからも、それぞれのステージで大きく成長して下さい。

○前田敏浩【挑む】卒業おめでとうございます。今から様々な困難があるかもしれませんが、挑戦する気持ちで頑張ってください。

○口石咲紀【楽】卒業おめでとうございます。いつも優しく微笑んでくれてありがとう。みんなとの授業は心が穏やかになり、楽しい時間でした。数学は、好きでない人もいるかもしれませんが、学ぶことで楽に解くことができたり、楽しさを感じたりできます。高校でも頑張ってください。

○水田礼子【結】人との出逢い、人との結びつきを大切に豊かな人生を歩んでください。

○徳永あゆこ【花】花いっぱい的人生を！！

○松尾彩也香(事務職員)【真】素直な気持ちを忘れずに、楽しい高校生活を送ってください。

○川崎正美(事務補助)【楽】これから始まる高校生活。後悔ないように友達もたくさんつくってEnjoyしてください！

○中原正博(学校管理員)【耕】卒業生の皆さんの心という土を耕し、夢や希望という素晴らしい花を咲かせてください！

○男澤不二美(心の教室相談員・読み語り)【成】ご卒業おめでとうございます。楽しいことも辛いこともあった3年間だったと思いますが、乗り越えて成長していく姿を見守ることができて幸せでした。ありがとう。

○山口美恵子(学校司書)【誠】誠実に生きていってください。

○眞邊千枝(読み語り)【顔施】あたたかい笑顔を与えましょう！

○久保頭由香利(読み語り)【花】読み語り、楽しくさせていただきました。みんなそれぞれの立派な花になってください。

○平田宏光【学】学ぶことって素晴らしい。これからも学び続けて、立派な人になってください。

○川口貴晴【善】ソクラテスの名言に次のようなものがあります。「善く生きることと、美しく生きることと、正しく生きすることは同じだ。」「一番大切なことは、単に生きることではなく、善く生きることである。」こんな言葉を時々思い出しながら人生を楽しく、充実させて過ごしてほしいと願っています。お元気で！

何もかもが、中学校最後の・・・

いよいよ明日は卒業式です。3年生は、「感謝の地域清掃」「高校入試報告会」など最後までいろんなことを頑張ってくれました。特に、「感謝の地域清掃」では、吉井町内のごみ拾いを行い、大量のごみを回収し、少しは吉井町の皆様に恩返しできたのではないかと思います。「高校入試報告会」では、制度が変わった公立入試についての説明や心構え、受験に向けての準備などを丁寧に伝え、在校生にとっては、先輩からの大きなエールになったと思います。12日(金)には最後の「読み語りボランティア」があり、真剣な表情で聞き入り、最後にお礼の言葉を贈りました。この様子は、本校HPにもアップしておりますので、どうぞご覧ください。

いよいよ15日(月)の給食が、義務教育最後の給食となります。先日のHPでも紹介しましたように「卒業お祝いメニュー」には赤飯が出ました。3年生の皆さんの成長をこれまで給食を通して、しっかりと支えてくださった吉井中学校給食調理員の皆さんへ、最後の給食は残食ゼロで感謝の気持ちを伝えてほしいものです。



命について改めて考えました。



日本中に大きな悲しみを与えた東日本大震災発生から早いもので10年が経ちました。本校でも10年後の3月11日に弔旗を掲げ、同時刻に吉井中全員でもそれぞれの思いを込めて黙とうを捧げました。10年前のあの日、あの時刻、まさかあのようなことが起こっている

とは夢にも思っていませんでした。東北地方で大地震があったらしいと職員室のテレビに映し出された光景に衝撃を受けました。九州に暮らす私たちにとっては、大地の揺れを感じることもなく、テレビに映し出された映像は映画やドラマの世界のように目に映りました。そして、徐々に明らかになっていく被害の状況に身震いし、あの津波の中にどれだけの人が・・・と考えたときに涙が止まらなかったことを今でも忘れません。

あの震災から、私たちは多くのことを学び、何が大切かを考え、教訓や戒めとしてきました。命を守る行動や危機管理・緊急対応などは当然のこと、被災地の方々が**絶望的な状況の中にあっても失わなかった人と人とのつながり、支えあい、譲り合っていく「絆」の大切さ**をこれまで以上に考えさせられるきっかけとなりました。

「天災は忘れたころにやってくる」と言われてきましたが、日本各地で頻発する豪雨や台風被害、身近なところでは熊本大地震、そして新型コロナウイルスと、現代は「まさか」が「またか」、「想定外」という言葉が当てはまらない状況にあります。

これから先も何が起こるかわかりません。そして、いつ起こってもおかしくありません。だからこそ、私たち

(あなたたち)には、「その時どう生きるか、どう行動するか」、これまで、これからの「学び」によって獲得した「生きる力」を存分に働かせ、たくましく生き抜く力が求められています。予測不能な事態・社会・世界に対応できる力を身に付けてほしいということです。

ある新聞に、「東日本大震災が過去のこと、特別な地区の出来事などと思われ始めている」といった記事が掲載されていました。多くの犠牲のもとに私たちに多くの学び・教訓・メッセージを与えてくれた10年前の出来事を終生忘れることなく、「その時」にしっかりとした判断・行動のできる人になってほしいと願っています。そのためにも日々の生活の中で起こる出来事を「自分事」として捉え、相手意識をもって考え行動できる「人間力」を磨く毎日を過ごしてほしいと心から期待しています。

どうぞ「2011年3月11日14時46分」を決して忘れないでください。「自分事」として記憶していこう！

ご卒業おめでとうございます！

3年生の教室をのぞくと、みんなで時間を惜しむかのように卒業アルバムに真剣に寄せ書きをしたり、談笑したりする姿がありました。後期選抜入試を終えて安心したのか、どの顔にも今まで通りの笑顔が戻りました。

卒業式までのほんのわずかな時間ですが、級友と過ごす時間がこんなにも楽しく、愛おしく、大切な時間なのだと改めてかみしめていることでしょう。

3年生とは、わずか1年間の付き合いでしたが、3年生のよさ、素晴らしさを知るには十分な期間でした。多くの我慢を強いることになった4月のスタートでしたが、**自分たちの良さや強み、役割を見失うことなく、最上級生としての責任・リーダーシップを十分に発揮してくれました。日々の落ち着いた立ち居振る舞いやきんちとした身なり、先語後礼の挨拶、真剣な授業態度、部活動への取組、誰もが安心できる学級づくり・数え上げればきりがありません。そして何より、優しく素直で、人懐こい雰囲気**に包まれた学年で、年間スローガンとしていた吉井中の「よし！いいね！吉井中！」の実現に大貢献してくれた、**自慢のできる3年生でした。本当にありがとうございました。**

さて、卒業にあたりお願いと激励の言葉を贈ります。**いよいよ登校するのもあと1日となりました。後輩たちにあなたたちの「何か」を残してほしい**と思っています。それは「特別な何か」ではありません。3年生がこれまで続けていた**当たり前の生活を学校生活でも卒業式においても示し「さすが3年生」と思える「後ろ姿」**で伝えてほしいと思います。その姿はきっと後輩に「伝統」として受けつがれていくと思います。よろしく願います。

在校生も3年生の姿をしっかりと目に焼き付け、バトンを繋いでほしいと思います。式練習の姿から、それができる在校生に育ったと喜んでいきます。期待しています。

義務教育9年間を終え、それぞれが自分で選んだ道を歩み始めます。あなたが旅立つ未来の社会は「正解がない、予測不能な社会」と言われています。だからこそ、**自分で考え・判断していく**ことが大切です。そこには責任も増しますが、それ以上に喜びも増します。**真剣だからこそ悩み・考えるのです。どうぞ一生懸命悩み、考えてください。そのことにこそ意味と価値があります。そして、試験の山と幸せの花園を歩み続けてほしいと願っています。**

最後に、心にいつも五気「やる気・本気・根気・勇気・元気」と時々「のん気」を忘れずに、心豊かで幸福な人生が全ての卒業生に訪れることを心から祈念しています。

